

第23回米子市水道事業審議会 資料

- ・平成28年度の決算について

平成29年11月20日(月)

～ 決算の概要 ～

1 業務の状況について

わずかながら、給水量が増加しました。

業務の実績の推移

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	増 減	増減率 (%)	摘要
給水人口 (人)	186,698	185,884	185,035	△ 849	△ 0.5	
給水戸数 (戸)	74,475	75,013	75,635	622	0.8	
年間配水量 (m ³)	22,902,958	23,142,831	23,161,807	18,976	0.1	
年間給水量 (m ³)	21,018,399	20,915,146	21,069,336	154,190	0.7	
有収率 (%)	92	90.4	91.0	0.6	0.7	

* 有収率は、年間配水量のうち、料金の基礎となった水量の割合。(同格都市の割合は90.1%)

2 経営状況(収益的収支)について

収益的収支 … 1年間の営業活動によって生じる収入及び支出です。

(消費税及び地方消費税抜き)
(千円)

①収益的収入

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	増 減	増減率 (%)	摘要
給水収益	2,881,332	2,866,976	2,889,598	22,622	0.8	水道料金収入
その他	565,855	540,567	529,651	△ 10,916	△ 2.0	長期前受金戻入など
総収益	3,447,187	3,407,543	3,419,249	11,706	0.3	

②収益的支出

(千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	増 減	増減率 (%)	摘要
営業費用	2,640,883	2,512,012	2,543,002	30,990	1.2	
営業外費用	223,212	206,041	187,673	△ 18,368	△ 8.9	主に支払利息等
特別損失	931,541	63,743	922	△ 62,821	△ 98.6	
総費用	3,795,636	2,781,796	2,731,597	△ 50,199	△ 1.8	

当年度純利益(①-②)

(千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	増 減	増減率 (%)	摘要
純利益(損失)	△ 348,450	625,747	687,652	61,905	9.9	

3 資本的収入及び支出

資本的収支 … 長期間、水道事業に役立つ施設の整備や更新などの収入及び支出です。

(消費税及び地方消費税抜き)

③資本的収入（翌年度にあてる繰越工事資金6億8千6百万円は除く。）

(千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	増 減	増減率 (%)	摘要
企業債	1,108,924	1,373,773	2,213,428	839,655	61.1	配水池設置事業 庁舎建設事業ほか
工事負担金その他	159,045	204,914	238,893	33,979	16.6	
計	1,267,969	1,578,687	2,452,321	873,634	55.3	

④資本的支出

(千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	増 減	増減率 (%)	摘要
建設改良費	1,705,805	1,898,229	2,817,636	919,407	48.4	配水池設置事業 庁舎建設事業ほか
企業債償還金	818,730	701,274	640,479	△ 60,795	△ 8.7	
計	2,524,535	2,599,503	3,458,115	858,612	33.0	

資本的収支不足額（④－③）

(千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	増 減	増減率 (%)	摘要
資本的収支不足額	1,256,567	1,020,816	1,005,794	△ 15,022	△ 1.5	

4 補てん財源

(千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	増 減	増減率 (%)	摘要
損益勘定留保資金	754,030	806,839	730,709	△ 76,130	△ 9.4	減価償却費など
繰越利益剰余金	374,437	172,801	259,258	86,457	50.0	議決処分
繰越工事資金	128,100	41,176	15,827	△ 25,349	△ 61.6	前年度に前受収入とした資金
計	1,256,567	1,020,816	1,005,794	△ 15,022	△ 1.5	

5 議決後の利益剰余金の現在高

(千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	増 減	増減率 (%)	摘要
減債積立金	119,100	150,400	184,800	34,400	22.9	利益の20分の1を積み立てる。 将来の企業債元金の償還にあてる
建設改良積立金	0	0	0	0	－	
その他積立金	29,495	29,495	29,495	0	0.0	水源涵養林取得積立金
繰越利益剰余金	965,601	1,387,247	1,781,240	393,993	28.4	今後の建設投資に使用
計	1,114,196	1,567,142	1,995,535	428,393	27.3	

建設改良事業の概要

継続して行っている事業

事業名	事業内容	工事費(千円)
1 配水管改良事業ほか	鋳鉄管ポリエチレン管φ50 ～φ150mm 8,641m	410,800
2 老朽管更新事業	鋳鉄管、ポリエチレン管 φ50～φ100m 2,263m	109,207
3 国道431号線水管橋更新事業	境港市 北砂浜橋	107,460

配水方式を自然流
下方式に変更。

完了した事業

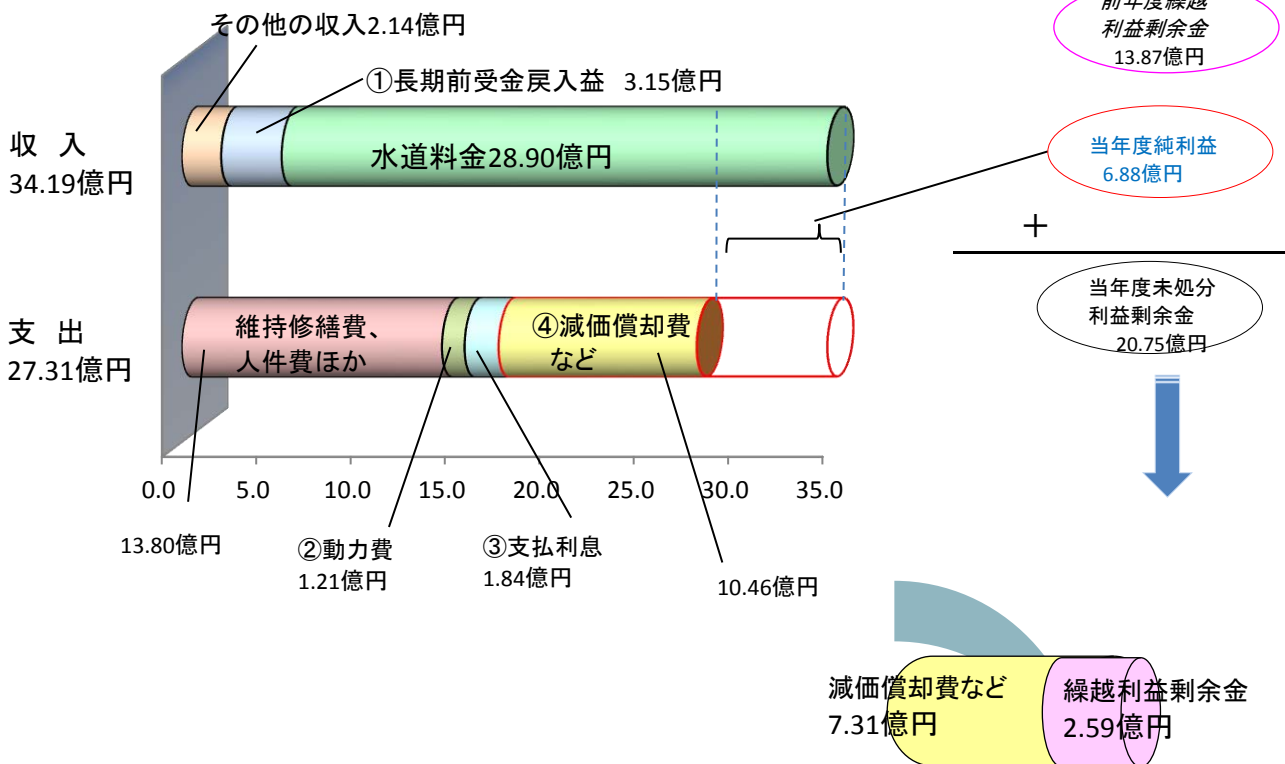
事業名	事業内容	工事費(千円)
4 配水池設置事業	中央、南部配水池建設工事、 送配水管網整備	953,643
5 代替水源施設整備事業	西尾原水源地 取水井建設工 事、導水管布設	104,924

平成28年度予算を繰越して実施している事業

事業名	事業内容	工事費(千円)
6 中央送水ポンプ場建設事業	ポンプ場建設工事、監視装置 改造工事等	495,880 (ほか予算繰越額150,142)
7 庁舎建設事業	建築主体工事、機械設備工 事、電気設備工事等	655,450 (ほか予算繰越額653,920)

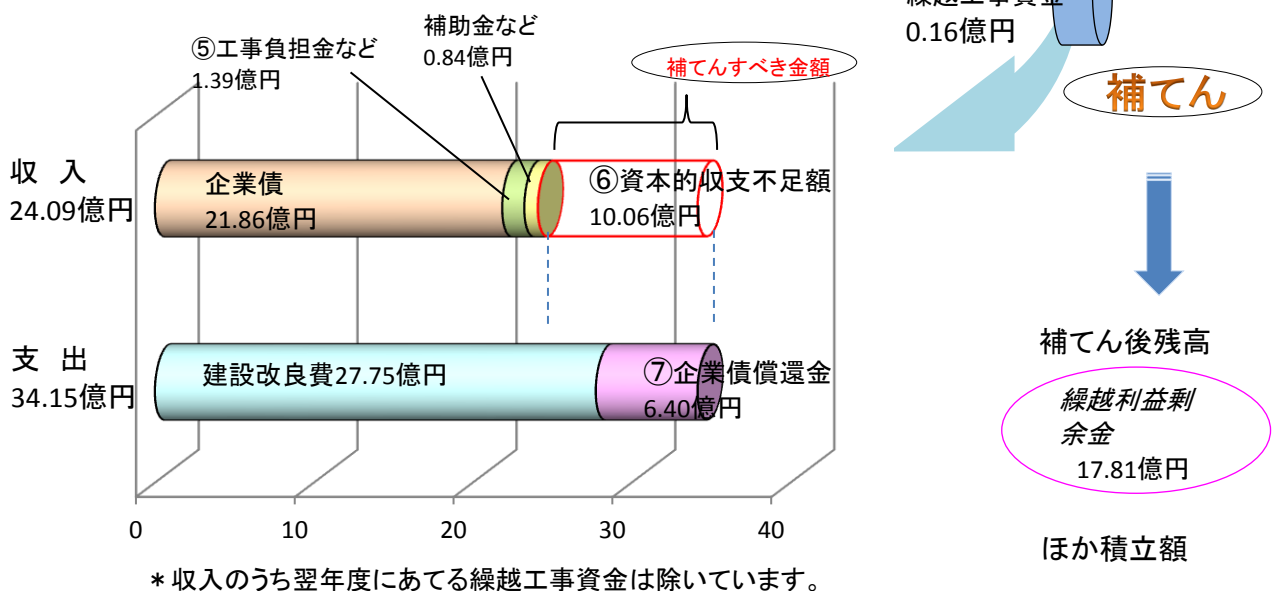
★収益的収支の決算(税抜)

(事業の運営や水道施設の管理に係る経常的な収支)



★資本的収支の決算(税抜)

(水道施設の新設や更新などに係る投資的な収支)



* 収入のうち翌年度にあてる繰越工事資金は除いています。

- ①長期前受金戻入益 …国庫補助金等で取得した資産について、減価償却に合わせて、順収益化する額。
- ②動力費 …水道水をお届けするために必要な電気料金。
- ③支払利息 …企業債(借入金)の利息。
- ④減価償却費 …施設の新設や更新に使ったお金を一度に費用とはせず、毎年、費用化するものです。実際の現金の支出はありません。
- ⑤工事負担金 …下水道や土木工事などに伴い発生する他会計が負担すべきお金です。
- ⑥資本的収支不足額 …減価償却費や繰越利益剰余金などの内部留保資金で補てんします。
- ⑦企業債償還金 …企業債(借入金)の元金の返済です。

～ 経営比較分析 ～

(総務省が公表を求める経営指標による)

◇経営の健全性

年度(平成)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
項 目						
①経常収支比率 (%)	本 市	116.22	118.13	120.34	125.36	125.07
	類似団体	108.20	107.78	113.09	112.69	－
②累積欠損金比率 (%)	本 市	－	－	－	－	－
	類似団体	0.95	0.56	0.56	－	－
③流動比率 (%)	本 市	314.20	462.80	197.30	242.02	337.70
	類似団体	592.60	649.22	272.41	265.95	－
④企業債残高対給水収益比率 (%)	本 市	323.67	341.79	362.25	388.07	462.26
	類似団体	299.16	297.13	301.99	298.09	－

(※類似団体の数値は、給水人口15万人以上30万人未満で、地下水、伏流水等を主な水源とする類似団体の全国平均値)

①経常収支比率 = 経常収益 / 経常費用 × 100

収益性を見る際の最も代表的な数値である。100%以上であり、単年度収支は黒字を維持し、類似団体平均を上回って推移している。

②累積欠損金比率 = 累積欠損金 / 事業の規模 × 100

累積欠損金は生じていない。

③流動比率 = 流動資産 / 流動負債 × 100

**本年度は、類似団体平均を上回った。
300%を超えており、短期債務に対する支払い能力は確保できている。**

概ね健全な経営を
維持している。

④企業債残高対給水収益比率 = 企業債残高 / 給水収益

給水収益に対する企業債残高の割合を示しています。大規模事業による借入額の増加により、類似団体平均より高い値を示している。今後は、計画的に借入残高の抑制が求められる。

◇経営の効率性

年度(平成)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
項 目						
⑤料金回収率 (%)	本 市	110.65	112.18	116.30	122.24	122.25
	類似団体	99.33	98.49	105.68	105.74	－
⑥給水原価 (円)	本 市	124.03	122.50	117.88	112.14	112.19
	類似団体	142.56	147.88	137.83	137.98	－
⑦供給単価 (円)	本 市	137.24	137.42	137.09	137.08	137.15
	類似団体	141.60	145.64	145.67	145.90	－
⑧施設利用率 (%)	本 市	77.60	76.90	75.30	84.88	85.20
	類似団体	65.98	63.65	62.99	65.31	－
⑨有収率 (%)	本 市	91.60	92.00	91.80	90.37	91.00
	類似団体	90.07	90.74	90.37	90.14	－

(※類似団体の数値は、給水人口15万人以上30万人未満で、地下水、伏流水等を主な水源とする類似団体の全国平均値)

$$\text{⑤料金回収率} = \text{供給単価} \div \text{給水原価} \times 100$$

100%を超える水準で推移しており、健全性を維持している。現状、給水原価は給水収益で賄えているが、今後、収益の減少に留意しなければならない。

$$\text{⑥給水原価} = (\text{経常費用} - (\text{受託工事費} + \text{材料及び不用品売却原価} + \text{附帯事業費}) - \text{長期前受金戻入}) \div \text{年間総有収水量}$$

類似団体平均より低い水準である。

これは、常に良質な水源を確保できてきたことにも起因している。

$$\text{⑦供給原価} = \text{給水収益} \div \text{年間総有収水量}$$

1 m³当たりの水の販売価格といえる。

概ね効率的といえるが、更に有収率などの向上に努めなければなりません。

$$\text{⑧施設利用率} = \text{一日平均配水量} \div \text{一日配水能力} \times 100$$

類似団体平均と比較して効率的な運用ができています。

遊休資産の精査などを実施し、更に効率的運用に努める。

$$\text{⑨有収率} = \text{年間総有収水量} \div \text{年間総配水量}$$

類似団体平均を若干上回っているが、漏水調査等実施し、更に効率的な運用に心がける。

◇老朽化の現状

年度(平成)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
項 目						
⑩有形固定資産減価償却率 (%)	本 市	35.87	36.36	42.43	45.68	44.34
	類似団体	40.97	40.97	45.68	46.60	－
⑪管路経年化率 (%)	本 市	6.54	6.97	6.76	12.82	11.00
	類似団体	11.07	12.21	13.57	14.27	－
⑫管路更新率 (%)	本 市	0.77	0.67	0.72	0.76	0.77
	類似団体	0.76	0.80	0.72	0.67	－

(※類似団体の数値は、給水人口15万人以上30万人未満で、地下水、伏流水等を主な水源とする類似団体の全国平均値)

⑩有形固定資産減価償却率 = 有形固定資産減価償却累計額 / 有形固定資産のうち償却資産の帳簿原価 × 100

減価償却の進み具合を表します。前年度を1.3%下回ったが、類似団体同様に、保有している施設全体の老朽化が進んでいる。

⑪管路経年化率 = 法定耐用年数を経過した導送配水管延長 / 導送配水管延長 × 100

類似団体平均より低い水準であるが、法定耐用年数を超えた管路が全体の1割を超えている。

⑫管路更新率 = 当該年度に更新した導送配水管延長 / 導送配水管延長 × 100

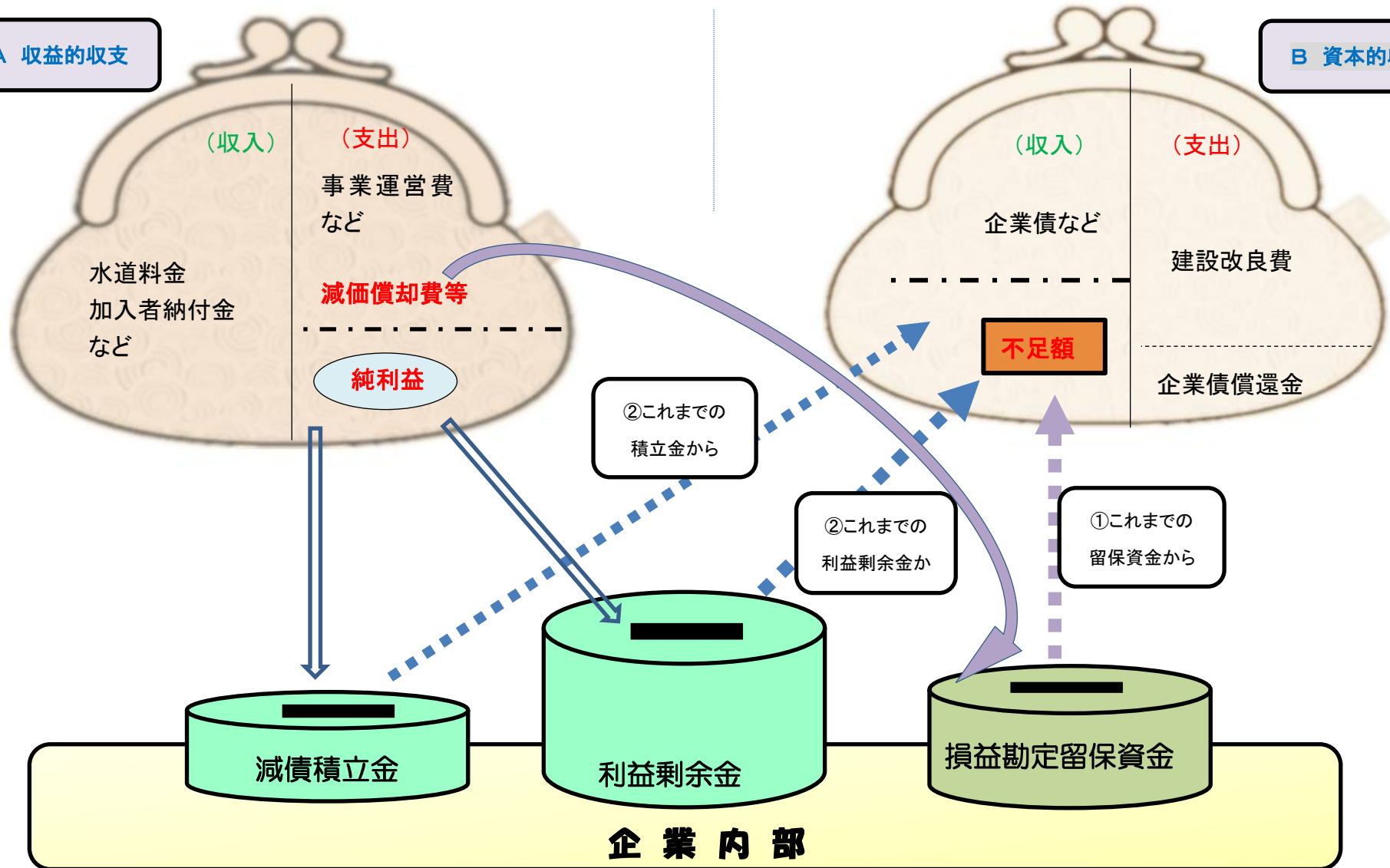
類似団体同様に、低い水準である。財政状況を踏まえた適正な計画のもと更新を実施していく。

施設、管路ともに老朽化の傾向にあります。中長期的な視野に立って、優先度を踏まえた更新が必要となっています。

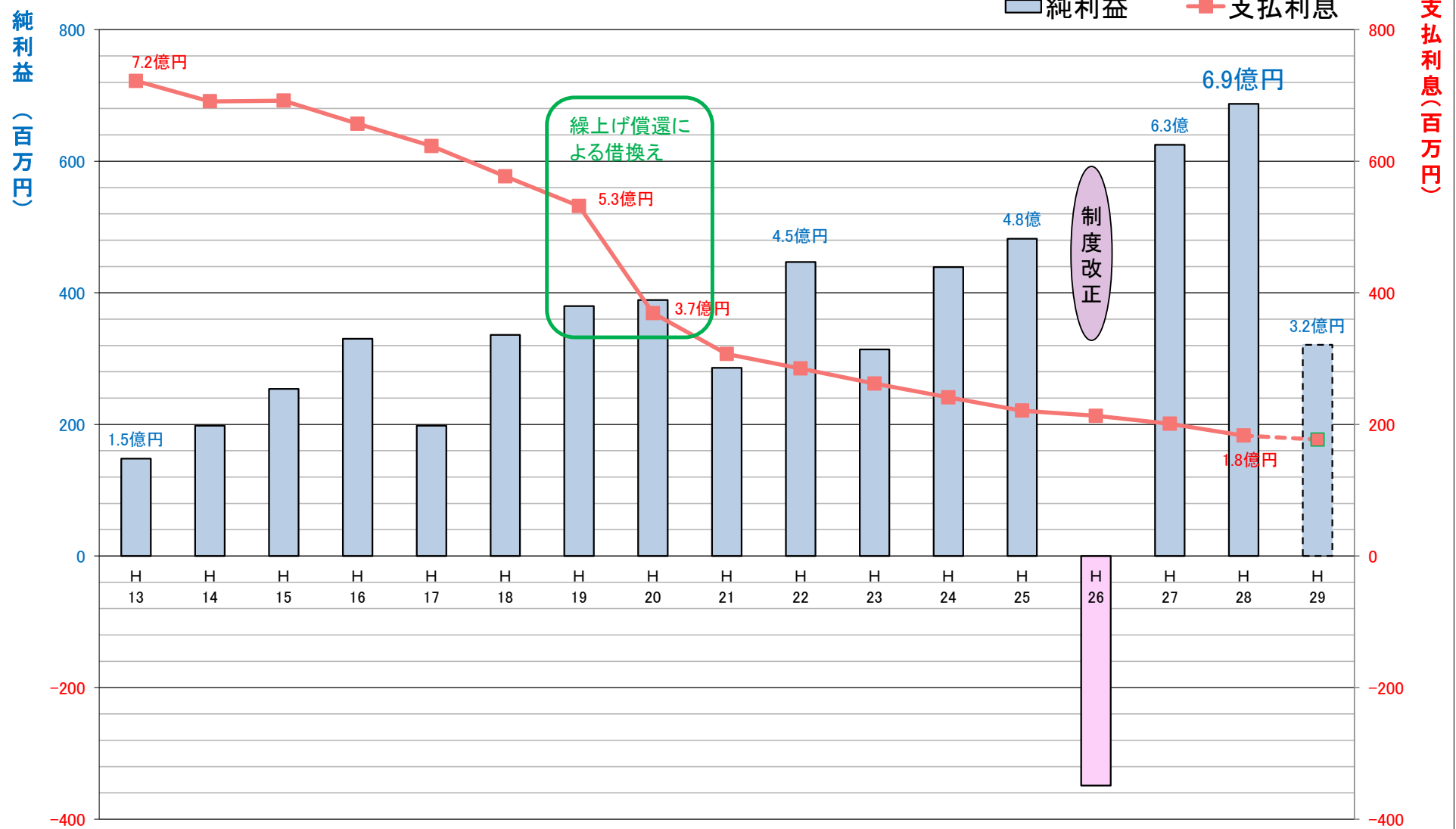
水道事業会計(二つの財布)のイメージ

A 収益的収支

B 資本的収支



純利益 と 支払利息



米子市水道事業計画策定委員会

平成27年5月設置(P92～P94)

『安全な水道・強靱な水道・水道サービスの持続』を基本方針として(P73～P74)

水需要

P41～P72

水需要の将来予測

(1)給水人口予測 (P49)

H28実績:185,035人
→H39予測:176,548人

(2)水需要 用途別水量の予測 (P51～P72)

($\text{m}^3/\text{日}$)

- 生活用水(P51～53)
- 浴場用水
- 官公署用水
- 学校用水
- 病院用水
- 事務所用水
- 営業用水
- 工場用水
- その他用水
- 随時用水
- 無収水量(放水等)
- 無効水量(減額水量等)
- 1日平均給水量

H28実績:63,457 $\text{m}^3/\text{日}$
→H39予測:57,959 $\text{m}^3/\text{日}$

水の安全

P24～28

安定した水質及び 水量の確保

- (1)戸上水源地
(中央・南部配水池
の送水拠点)
 - ・深井戸の更新
 - ・浅井戸の深井戸化
調査及び更新
- (2)福市水源地取水
 - ・紫外線照射装置設置
(H29施行中)

配水施設

P6～P23.83.84

主な事業計画

- (1)観音寺山配水池更新事業
(創設～)
- (2)戸上水源地
 - ・管理棟補修
 - ・機械・電気設備改修
- (3)日下水源地
 - ・建築施設・配水池補修
 - ・機械・電気設備更新
- (4)河岡水源地
 - ・建築施設補修
 - ・機械・電気設備更新
- (5)水浜水源地
 - ・建築設備補修
 - ・機械・電気設備更新
- (6)二本木水源地
 - ・建築設備補修
 - ・機械・電気設備更新
- (7)基幹管路更新事業(大口径)
 - ・国道431号線水管橋等
- (8)老朽管更新事業(小口径)
 - ・適宜路線の選定
(口径 ϕ 100mmまでは配ポリ)

財 政

P85～P89

財政収支の見通し

- (1)料金収入の減少(P85)
～水需要将来予測による～
H28実績:2,889,598千円
→H39予測:2,652,904千円
- (2)減価償却費の増加
～H29以前の事業+H30年
以降の計画事業による～
- (3)管路撤去費
- (4)施設更新需要の増加
～配水施設小委員会
のまとめ～
- (5)起債借入額の抑制
～企業債残高の抑制～

水道料金制度

- ### 料金体系を検討中
- (1)他都市料金体系の調査